



令和7年7月22日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

# 豊川海軍工廠展

豊川市桜ヶ丘ミュージアムでは、昭和14年に豊川の地に開庁し、20年8月7日の大空襲のあと、その歴史に幕を閉じた巨大兵器工場：豊川海軍工廠の歴史や戦争について知っていただこうと、毎年夏の時期に展覧会を開催しています。今年度は下記のとおり開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

## 記

- 1 会 期 令和7年7月26日(土曜)から8月31日(日曜)まで
- 2 会 場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 第5・6展示室、ロビー
- 3 観覧時間 午前9時から午後5時まで
- 4 休 館 日 毎週月曜日（8月11日は開館）
- 5 展示資料 豊川海軍工廠関連資料の中から、機銃に関する資料をご紹介しますほか、靖國神社遊就館所蔵の九九式二十<sup>ミリ</sup>機銃（豊川海軍工廠製造）の特別展示を実施します。

また、本年は戦後80年を迎えるにあたり、「豊川海軍工廠展のあゆみ」と題して、当館がこれまでに開催した豊川海軍工廠展の全てのポスターを展示するとともに、それらを1冊にまとめたパンフレットを頒布します。

## 【お問合せ先】

豊川市役所 市民部 文化振興課 ミュージアム係 福田

TEL : 0533-85-3775 / Eメール : bunka@city.toyokawa.lg.jp

豊川海軍工廠が開廠した昭和 14 年（1939 年）の日本は、日中戦争の拡大や日米関係の悪化からその後まもなくして開戦する太平洋戦争に備えて特に航空戦力増強や敵の航空戦力に対応する兵器の増産が喫緊の課題でした。豊川海軍工廠は、これまでの他の海軍工廠とは異なる内陸部に立地し、艦載兵器、航空機用兵器、観測器具等を主に生産する軍需工場として開廠しました。

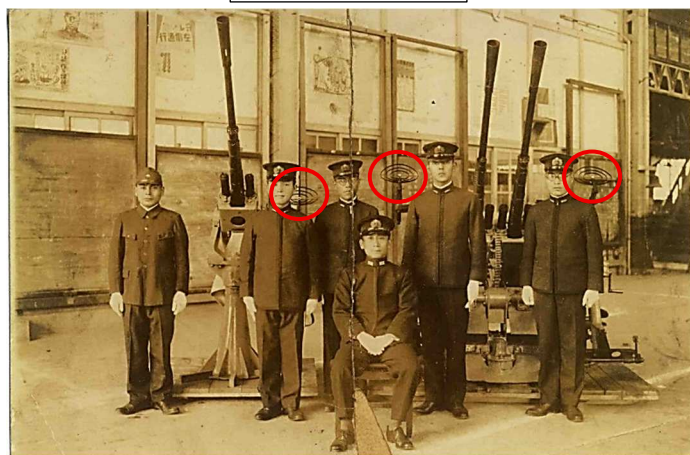
## 対空機銃に関する資料

### 環型照準器（25 ミリ機銃用）

穴を通して目標（敵機）を見ることで照準（狙い）を定めます。



### 機銃部記念写真

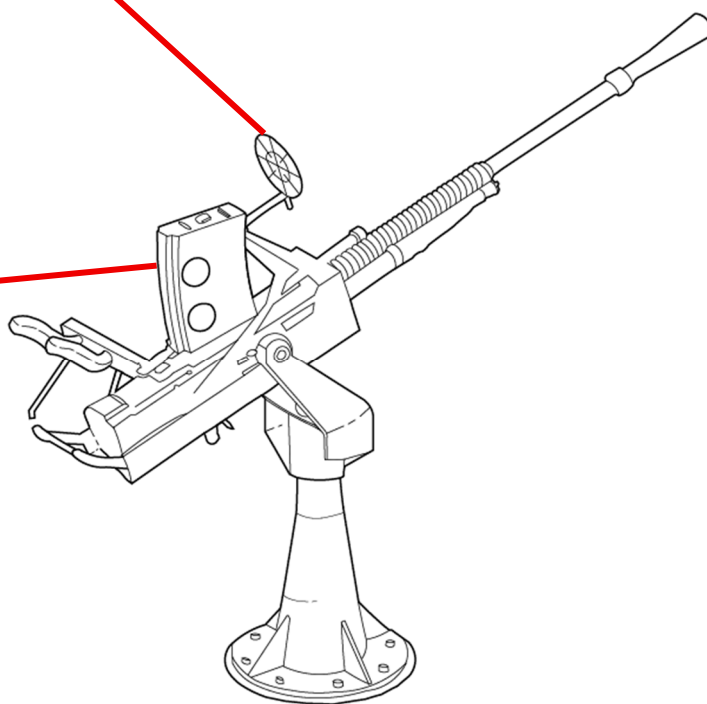


当時の写真にも資料とよく似た照準器が映っている様子が分かります。

### 弾倉（25 ミリ機銃用）



箱型弾倉は海軍では 13 ミリ機銃と 25 ミリ機銃で採用されました。弾倉内部にはW字状のばねがあり、そのばねが弾を押し出すことで機銃本体に給弾され連続射撃を可能にしていました。



対空機銃（艦船搭載）模式図

## 九九式二十<sup>ミリ</sup>機銃（一号二型改）

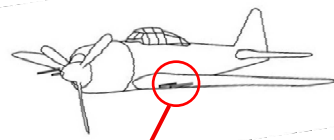
昭和18年（1943年） 豊川海軍工廠製造  
（靖國神社遊就館 所蔵）

全長：133.1 cm

重量：23 kg

砲口初速：600m/s

発射速度：約520発/分



九九式二十<sup>ミリ</sup>機銃は零式艦上戦闘機（ゼロ戦）の主力武装として広く搭載されました。豊川海軍工廠は九九式二十<sup>ミリ</sup>機銃とその弾薬の生産拠点でした。機銃には豊川海軍工廠の刻銘を入れ、豊川海軍工廠の製品であることを示しています。



### 製造場所の刻銘

製造場所を示す  
「豊川海軍工廠」の  
文字と製造番号が入  
っています。



### 製造番号の刻銘

豊川海軍工廠製造  
のものは「豊」の字  
が入っています。



### 弾倉（九九式二十<sup>ミリ</sup>機銃二号）

ドラム式弾倉を採用。

当初（～二型）の装弾数は  
60発でしたが、改良型（三型）  
は100発に増えています。

その後は、125～250発装弾可能な  
ベルト給弾式（四型～）に変わ  
りました



※当資料の画像の使用は本展覧会の宣伝に関する内容に限ります。

※当資料の画像は当館から提供はできません。

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

# 「豊川海軍工廠展」の あゆみ

戦後40年を機に開催した海軍工廠展は、戦後50年を翌年に控えた平成6年以降、毎年継続して開催してきました。

開催履歴は下表のとおりで、戦後80年の今年は第33回目にあたります。

|      | 開催年         | 会 期         | 会 場             | 備 考                  |
|------|-------------|-------------|-----------------|----------------------|
| 第1回  | 昭和60年(1985) | 4月27日～9月29日 | 特別展示室           | 戦後40年                |
| 第2回  | 平成 6年(1994) | 8月 2日～8月20日 | 第2・3展示室         |                      |
| 第3回  | 平成 7年(1995) | 7月25日～8月31日 | 全館              | 戦後50年                |
| 第4回  | 平成 8年(1996) | 8月 1日～9月 1日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第5回  | 平成 9年(1997) | 7月29日～8月31日 | 常設展示室           |                      |
| 第6回  | 平成10年(1998) | 8月 4日～8月23日 | 第1展示室           |                      |
| 第7回  | 平成11年(1999) | 7月20日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第8回  | 平成12年(2000) | 7月18日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第9回  | 平成13年(2001) | 7月17日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第10回 | 平成14年(2002) | 7月16日～9月 1日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第11回 | 平成15年(2003) | 7月25日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第12回 | 平成16年(2004) | 7月17日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第13回 | 平成17年(2005) | 7月23日～9月 4日 | 常設・特別展示室        | 戦後60年                |
| 第14回 | 平成18年(2006) | 7月22日～9月 3日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第15回 | 平成19年(2007) | 7月21日～9月 2日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第16回 | 平成20年(2008) | 7月19日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第17回 | 平成21年(2009) | 7月18日～8月30日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第18回 | 平成22年(2010) | 7月17日～8月29日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第19回 | 平成23年(2011) | 7月16日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第20回 | 平成24年(2012) | 7月21日～8月31日 | 常設・特別展示室        |                      |
| 第21回 | 平成25年(2013) | 8月 7日～8月18日 | 文化会館展示室         | 桜ヶ丘ミュージアム改修工事のため     |
| 第22回 | 平成26年(2014) | 8月 2日～8月17日 | 文化会館展示室         | 短期パネル展示              |
| 第23回 | 平成27年(2015) | 7月18日～8月30日 | 第5・6展示室、文化会館展示室 | 戦後70年、テーマ：体験画        |
| 第24回 | 平成28年(2016) | 7月19日～8月31日 | 第5・6展示室         | テーマ：JAPAN STRIKE     |
| 第25回 | 平成29年(2017) | 7月22日～8月31日 | 第5・6展示室         | テーマ：服飾資料             |
| 第26回 | 平成30年(2018) | 7月21日～9月 2日 | 第5・6展示室         | テーマ：褒状               |
| 第27回 | 令和 元年(2019) | 7月20日～9月 1日 | ロビー             | テーマ：技術資料             |
| 第28回 | 令和 2年(2020) | 8月 1日～9月 6日 | 第5・6展示室         | テーマ：測定器              |
| 第29回 | 令和 3年(2021) | 7月17日～8月31日 | 第2・3展示室         | テーマ：共済病院             |
| 第30回 | 令和 4年(2022) | 7月16日～8月31日 | 第5・6展示室         |                      |
| 第31回 | 令和 5年(2023) | 7月29日～8月31日 | 第5・6展示室         | テーマ：排水路              |
| 第32回 | 令和 6年(2024) | 7月27日～9月 1日 | 第5・6展示室         | テーマ：竹生節男 絵筆に込めた記憶と思い |
| 第33回 | 令和 7年(2025) | 7月26日～8月31日 | 第5・6展示室         | 戦後80年、テーマ：機銃         |

# 令和7年度豊川海軍工廠展 出品資料一覧

| No. | 資料名                       | 数量 |
|-----|---------------------------|----|
| 1   | 九九式二十糎機銃（豊川海軍工廠製）※靖國神社所蔵  | 1  |
| 2   | 給料袋(昭和十八年九月)              | 1  |
| 3   | 弾薬包表示ラベル                  | 1  |
| 4   | 十三糎機銃曳眼弾薬包注文票             | 1  |
| 5   | 弾丸防湿作業風景写真                | 1  |
| 6   | 弾丸包装作業風景写真                | 1  |
| 7   | 九六式二十五糎機銃 環型照準器           | 2  |
| 8   | 九六式二十五糎機銃 環型照準器 格納箱       | 1  |
| 9   | 機銃部記念写真                   | 1  |
| 10  | 二十五糎機銃設計資料                | 1  |
| 11  | 各種機銃動作説明図                 | 1  |
| 12  | 二十五糎機銃用弾倉                 | 1  |
| 13  | 機銃部記念写真                   | 1  |
| 14  | 七糎七機銃弾薬包の徹甲弾の弾身           | 3  |
| 15  | 七糎七機銃弾薬包の焼夷弾一型の弾芯         | 1  |
| 16  | 七糎七機銃弾薬包の焼夷弾二型            | 1  |
| 17  | 七糎七機銃弾薬包の曳眼弾              | 2  |
| 18  | 七糎七機銃弾薬包の曳眼弾（製造途中）        | 2  |
| 19  | 二式十三糎機銃弾薬包の曳眼通常弾の無撃針型信管   | 2  |
| 20  | 九三式十三糎機銃弾薬包の弾芯            | 2  |
| 21  | 三式十三糎機銃弾薬包の弾丸（製造途中）       | 2  |
| 22  | 三式十三糎機銃弾薬包の焼夷弾二型の弾丸（製造途中） | 1  |
| 23  | 二式十三糎機銃弾薬包の薬莢             | 5  |
| 24  | 十三糎機銃の弾薬包                 | 1  |
| 25  | 九九式二十糎機銃弾薬包の自爆型信管         | 2  |
| 26  | 九九式二十糎機銃弾薬包の恵式二十糎三型信管     | 1  |
| 27  | 九九式二十糎機銃弾薬包の焼夷通常弾         | 2  |
| 28  | 九九式二十糎機銃弾薬包の弾丸            | 2  |
| 29  | 九九式二十糎機銃弾薬包の曳眼弾           | 1  |
| 30  | 九九式二十糎機銃弾薬包（二号）の薬莢        | 1  |

|    |                               |    |
|----|-------------------------------|----|
| 31 | 二十耗機銃薬莢（刻印あり）                 | 1  |
| 32 | 九六式二十五耗機銃弾薬包の着発信管一型           | 1  |
| 33 | 九六式二十五耗機銃弾薬包の通常弾              | 1  |
| 34 | 九六式二十五耗機銃弾薬包の曳跟通常弾            | 1  |
| 35 | 九六式二十五耗機銃弾薬包の薬莢               | 2  |
| 36 | 加工前薬莢                         | 3  |
| 37 | 組立統制漸進作業仮指導書                  | 1  |
| 38 | 九六式二十五耗機銃金物鑄造法A(架構之部)         | 1  |
| 39 | 機銃部記念写真                       | 1  |
| 40 | 機銃部物品検査書                      | 1  |
| 41 | 銃身洗浄ブラシ                       | 2  |
| 42 | ライフリング検査鏡                     | 2  |
| 43 | 十三耗弾丸薬莢製造機械取扱並製造作業要領          | 1  |
| 44 | 九三式（三式）三十耗機銃薬莢雷管圧填作業要領        | 1  |
| 45 | 豊川海軍工廠における作業要領「各種弾薬包装填図」      | 1  |
| 46 | 二十五耗機銃火管雷管圧填作業要領              | 1  |
| 47 | 火薬装填工場爆発事故の様子 竹生節男 画          | 1  |
| 48 | 火薬装填工場爆発事故の様子（手記）             | 1  |
| 49 | 火薬装填工場爆発事故の様子 竹生節男 画（スケッチブック） | 5  |
| 50 | 八八式信管二型 十個 格納箱                | 2  |
| 51 | 八八式信管四型 十個 格納箱                | 1  |
| 52 | 二十五耗機銃着発信管四型 80個入 格納箱         | 9  |
| 53 | 九六式二十五耗機銃二型 補用銃身格納箱           | 1  |
| 54 | 二十五耗機銃二連装用銃架格納箱               | 1  |
| 55 | 二十五耗機銃演習弾 40個入 格納箱            | 1  |
| 56 | 九一式時限信管改一 20個入 格納箱            | 1  |
| 57 | 九七式二号弾頭発火装置二型改一 6発入 格納箱       | 1  |
| 58 | アメリカ軍撮影航空写真（昭和20年4月7日・9月21日）  | 2  |
| 59 | 被覆布「豊川海軍工廠機銃部 第14号」銘入り        | 1  |
| 60 | 映像 JAPAN STRIKE               | 1  |
| 61 | 豊川海軍工廠展 歴代ポスター                | 23 |
| 62 | 映像 豊川海軍工廠ー巨大兵器工場から一大工業団地へー    | 1  |

機 關 部

弾 倉

# 豊川海軍 工廠展

令和7年 7/26 土

— 8/31 日

入場無料

戦後80年特別展示  
九九式二十糎機銃(豊川海軍工廠製造)  
(靖国神社遊就館 所蔵)

豊川海軍工廠の刻銘が確認できます

● 会 場 豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
1階 第5・6展示室

● 開館時間 午前9時～午後5時

● 休 館 日 毎週月曜日(8月11日(祝)は開館)

展示解説

8月 7日(木) 午後2時から  
8月16日(土) 午後2時から

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2  
TEL ● (0533) 85-3775 / FAX ● (0533) 85-3776



当館では、豊川海軍工廠の歴史や戦争について知っていただこうと、毎年夏季に豊川海軍工廠展を実施しています。

本展覧会は当館が所蔵する豊川海軍工廠関連資料の中から毎年異なるテーマで資料を選出し展示しています。今回の豊川海軍工廠展のテーマは「機銃」です。終戦から80年の節目を迎える今年度は靖国神社遊就館より豊川海軍工廠製造の九九式二十糎機銃をお借りして、特別展示を実施します。九九式二十糎機銃とは豊川海軍工廠の主要な製品である航空機用の機銃のひとつであり、これは零式艦上戦闘機に搭載したものです。

豊川海軍工廠製の機銃を当館でご観覧いただける今年度限りの貴重な機会です。多くの皆様にご観覧いただければ幸いです。

# 豊川海軍工廠展

## 歴史セミナー

### 豊川海軍工廠と機銃

- 日 時 — 8月11日(祝)  
午後2時～午後3時30分
- 定 員 — 50名(先着順)
- 対 象 — どなたでも
- 講 師 — 当館学芸員
- 会 場 — 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 会議室
- 申込開始日 7月12日(土) 午前9時～

## 令和7年度 文化ホール公演事業

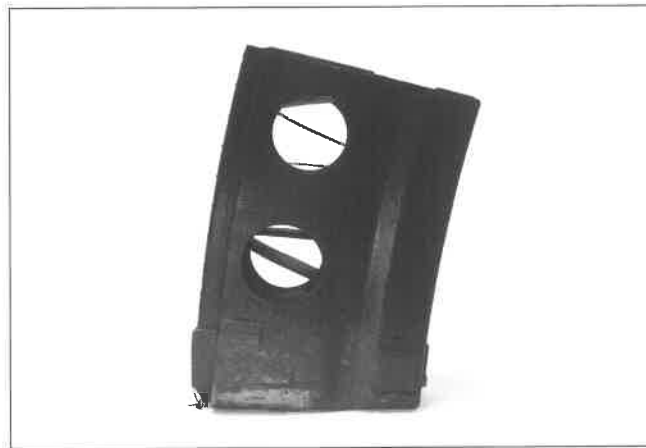
### まっプロ公演

### 「父と暮らせば」

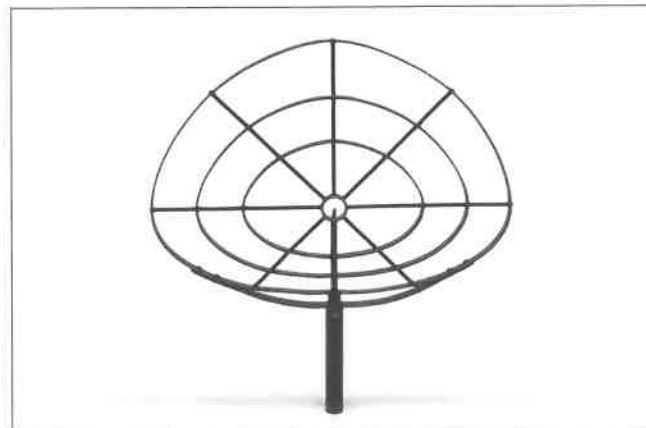
- 日 時 — 10月18日(土) 午後2時～
- 会 場 — 御津文化会館 大ホール
- 作 — 井上ひさし
- 出 演 — 鹿目由紀(劇団あおきりみかん)  
七星東子(青年団/劇団サカナデ)  
松井真人
- 入場料 — 一 般 2,000円  
24歳以下 1,000円  
一般ペア 3,600円
- 前売発売日 8月31日(日)



昭和23年、広島。雷を怖がる美津江を励ます父・竹造。実は彼はすでに亡くなっているが、娘の初恋を応援するために現れる。  
美津江は「うちはしあわせになってはいけんじゃ」と言うが…そんな、魂の再生のものがたり。



対空機銃の弾倉



対空機銃の照準器

## 豊川海軍工廠と機銃



### 【交通案内】

- 電車 ● JR飯田線「豊川」駅、  
名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分
- バス ● 豊橋駅東口バスのりばから豊鉄バスで「イオン豊川店」下車徒歩約5分  
JR豊川駅前のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで、  
「桜ヶ丘ミュージアム」下車徒歩1分
- 車 ● 東名高速「豊川IC」から約10分(駐車場約150台:無料/公園と共用)  
※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関の利用や乗り合せにご協力ください。

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

## 豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2  
TEL ● (0533)85-3775 / FAX ● (0533)85-3776



次の展覧会は…

特別展

## 埴輪大相撲 豊川場所

令和7年 10月18日(土)～11月30日(日)



所蔵・画像提供: 高槻市立今城塚古代歴史館